

酒とパソコンと少々ミルク

気合です！

成光 昭男

木苺の一種に米国中部原産のブラックベリーと言う果樹があります。

我が家では、約80㎡に8株のブラックベリーを育てており、7月下旬から8月中旬にかけて果実を収穫し、ジャム300本ほど作り、道の駅で販売しています。6次産業化サポーターをしながら、自らも6次産業化に取り組んでいるところです。

程よい酸味があり、香りも高く、評判の良いジャムですが、店に陳列しておくだけでは、1日1本も売れば良い方です。これでは、いつまでたっても在庫が減りません。

そこで、お客様の多い土日休日で、時間に余裕があるときは、気合を入れ、お客様に試食をお願いしてみると、何と売れる、売れる！ 3時間で、20本は固く、最高は39本売れました。

ある会合でのこと、6次産業化に取り組んでいるご婦人が、「売上を伸ばすためにはどうしたら良いか」と質問したところ、あるコンサルタントの回答は「気合です！」の一言でした。

売るための手法は色々あるようですが、そこは、売る人が工夫するところで、安易に人に訊ねるのは、その時点で「気合が入っていない」と言うことなのでしょう。

私は、この「気合です！」がすっかり気に入ってしまって、ブラックベリーのジャムも当然、気合で販売し、最近では何かにつけて「気合です！」を使います。

牛群検定成績から宮崎県と都府県の繁殖成績を改めて見てみましょう。

表1 牛群検定に見る繁殖成績 H26.7現在

	宮崎県	都府県
分娩後初回AI(日)	94	92
空胎日数(日)	190	173
実空胎日数(日)	96	81
AI回数(回)	2.5	2.5
発情回数(回)	5.6	4.9
発情発見効率(%)	45%	51%
受胎率(%)	40%	40%
妊娠率(%)	18%	21%

空胎日数は「分娩後初回AI日数」、「発情発見効率」、「受胎率」で決まります。

表1は今年7月検定時の繁殖成績です。

分娩後初回AI日数は、私の経験上、改善をご指摘させて頂いた酪農家の方の多くは、すぐに改善されていますので、最も改善しやすい項目だろうと思います。

表2は3年前の平成23年7月検定時の成績です。宮崎県では、皆様の努力があり、分娩後初回AI日数が21日も短縮しました。その結果、空胎日数も17日も短縮され、都府県との差も縮まりました。

一方で、3年間で、なかなか改善出来なかった項目としては、発情発見効率と受胎率です。

受胎率は都府県と同じ40%となっていますので、まずまずとして、都府県より6%ポイント低い発情発見効率を優先して改善すべきではないでしょうか。

発情発見効率が低くなる原因の中で、発情の見逃しが最も多いと思います。

では、発情の見逃しを防ぐためには何をするか。牛の観察を十分に行う。万歩計やヒートマウントディテクター、テイルペイントを利用する。牛舎への繁殖管理板を設置する。繁殖管理にパソコンを利用する。アポイントメントブリーディングを導入する。

様々な方法が考案され、どれをとっても、効果的な方法でしょう。

しかし、

「発情発見効率の改善に最も効果的なのは、気合です！」

表2 牛群検定に見る繁殖成績 H23.7現在

	宮崎県	都府県
分娩後初回AI(日)	115	95
空胎日数(日)	207	172
実空胎日数(日)	92	77
AI回数(回)	2.4	2.6
発情回数(回)	5.4	4.7
発情発見効率(%)	47%	53%
受胎率(%)	42%	38%
妊娠率(%)	20%	20%